



思・誠・愛

りんごの摘果作業・地域巡り学習

5月18日(木)に2・3年生は地域の農家に伺い、摘果作業を行いました。当日は、例年になく暑い日でしたが、午前中いっぱい、頑張って作業をしました。同日、1年生は地域の特色を探しに、地域巡りを行いました。新しい発見も多く、今後の学習に生かせる有意義な時間となりました。どちらも地域の方の支えがとても重要な学習活動です。地域とのつながりやご協力に感謝しながら、今後の学習をよりよいものにしていきたいと思ひます。



摘果作業の様子



地域めぐり



♪地域を知ろう！4つのコース♪

- 1組：スカイパーク満喫コース
- 2組：体を動かせ！なろう原公園で遊ぼうコース
- 3組：歴史探訪～今井地区史跡めぐり～コース
- 4組：歴史探訪～古川寺見学&芦の池でのんびり♪～コース

夏季大会に向け壮行会を行いました

6月2日(金)に壮行会を行いました。各部長から、これまで支えてきていただいたすべての方への感謝の言葉のほか、大会に向けた決意が発表されました。全校からは、熱い思いを込めた本気の応援が送られました。生徒代表の挨拶では吹奏楽部部長の奥原さんより「目標に向かって練習に励む中で、つらいこともあったかと思ひます。それでも、今まで頑張ってきた自分を信じ、全力で戦ってきてください。応援しています。」とのメッセージが選手に送られました。選手を代表して男子ソフトテニス部部長の野村さんからは「ありがとうございます。支えてくださったすべての方に感謝し全力で戦ってきます。」との決意が、あらためて語られました。

前期人権教育

鉢盛中学校では年に2回の強調期間を設定し、集中的に人権学習に取り組んでいます。今年も5月23日（火）の校長講話をスタートとして、各学年で人権学習が始まりました。講話では、人権学習を通して、集団の中での自分のあり方を考えていく意味についてお話がありました。これからの人権学習や道徳の授業を通してこのことについて考えていきたいと思えます。

【校長講話より（抜粋）】

「じりつ」には一般的に二つの漢字があります。みなさんはどちらの漢字を思い浮かべますか？書いてみてください。「自立」・「自律」ですね。

それでは、それぞれの「じりつ」にはどのような意味がありますか？

まず、「自立」ですが、これは辞書によると「自分だけの力で行動し生活すること」とあります。一方、もう一つの「自律」ですが、同じく辞書によると「自分で決めた規則にしたがうこと」とあります。

では、「自立」と「自律」はどちらが重要なのでしょう。今日は、人とのかかわりという視点から比べてみましょう。まず、先ほど話したように「自立」とは、「自分だけの力で行動し生活すること」という意味でした。つまり、これは自分一人の世界のことです。

では、もう一方の「自律」はどうかというと、「自分で決めた規則にしたがうこと」という意味でした。これは、周囲とのかかわりの中で成り立つことです。自分は良いけれど、周囲の人のことは関係ないとか、「自分の決めた規則」が「周囲の迷惑」になってはいけないのであって、それでは「自律している」とならないわけです。

では、どういうことが大切になるのでしょうか。「自律する」ために大切なこと、それは、「互いが適切に依存しあうこと」です。

私たちは人に頼って生きていきます。それでいいのです。ただ、そのためにも良い関係性が必要になり、その依存という点で、適切な言葉づかいやお互いが気を働かせた行動ととれるということが大切になります。

「自立」は自分のことは自分でできることですので、とても立派なことです。一方で、これからみなさんが中学校生活を送るとき、周囲の人といい関係で依存しあう、助け合う「自律」を大切にしたいと思えます。それが、これからの社会がみなさんに求める力です。

そのために、自分で考え、判断し、決定し、行動する力が、みなさん全員に必要です。

だから、集団の中での自分のあり方を、人権の学習を通して学ぶのです。

「人権」とは、「人が幸せに生きるための権利」のことです。みなさんの「人権」は、ほかの人びとから大切に守られなければなりません。そして、もちろん、みなさんもほかの人がもっている「人権」を大切に守ってあげなければなりません。

これから中体連の大会や吹奏楽・合唱の講習会が開催されたり、白峰祭へ向けての準備が始まったりします。また、1年生の宿泊学習や2年生の職場体験学習へ向けての学習が本格的になってきます。是非、ヒトとのかかわり「自律」を心にとめながら、学校生活を送ってほしいと思えます。

交通事故



前号から現在までに本校で起きた交通事故に関する概要を掲載します。

- ・生徒が、自転車で登校中に電柱に追突しケガをする、という事故が起こりました。しっかりと前を見て自転車の運転をしていなかったことや坂道であったため、スピードを出しすぎてしまったことが事故の原因だと思われます。自転車での登下校は毎日のことですが、常に緊張感をもち、安全に登下校できるよう心掛けたいです。

